

# 災害から学ぶ CCUSの活用について

(建設キャリアアップシステム)

2022.11/29 (火) 13:30～

会場 首都圏建設産業ユニオン(4F 会議室)

## 1 西日本、熊本災害からCCUS活用について ～災害時応急仮設住宅建設、なにが始まるのか?～

講師：拝志 正樹 氏(広島建労・全木協広島)



災害の発生と対応をシュミレーション：応急仮設住宅の建設着手、確実な労働者供給、現場の安全確保、足場が組めない場合だってある、1日一人4リットルの水、応急仮設住宅の再利用、「貴方は何が出来る?」とは言いにくい  
現場の役割分担(大作業) 班長、職長、リーダーの選任、組合役員だから通用しない! / 登録、評価、契約(労働者供給・協約)、再訓練のサイクルとCCUS 個々人の確認/阪神大震災復旧から熊本災害復旧へ ものづくりは人づくり/建設技能者・組合の社会的責務とは何か

## 2 災害時こそ必要とされるCCUSとは ～木造応急仮設住宅建設とCCUS連携が必須の時代に～

講師：池田 浩和 氏(岡庭建設専務取締役/JBN・全国工務店協会 副会長/全木協東京都協会会長等)



全木協とは?と木造応急仮設住宅について、過去の事例含め紹介。  
木造応急仮設住宅建設とCCUSが紐付けされた!  
登録なしはレベルなし→技術高くと賃金差発生/災害時にあらわになる職人の技術、有事とCCUS連携を知る/入退場アプリの現状等

近年、集中豪雨などの災害や南海トラフ地震などの災害が実際に起きた時に、住民の避難、安否確認、被災者の生活支援、住まいの確保等を事前に知って準備することで円滑に対応できること、課題になっていること、改善の方向性など、実際に被災地の組合として何が出来るのか、何をしなければならないのか、西日本豪雨災害、熊本豪雨災害の経験を実際に経験された講師をお招きし、講習会を開催します。

また今後、首都圏での災害があったときに、地域の建設業者に求められることは何なのか、行政との連携、救助・搜索活動、医療救護、コロナ禍における避難所運営支援、物資調達や住宅の応急修理、建設仮設住宅に係る早期の工事着手等、組合として、役員として、書記としてそれぞれの立場から役割等を学習し、建設ユニオンとしての災害対策を全体として模索していきます。

# 西日本豪雨災害

2014年8月広島市を中心としたごく狭い範囲に集中豪雨が発生。「数百年に1回程度よりはるかに少ない確率」で発生した記録的集中豪雨であった。線状降水帯が発生し、同時多発的に大規模な土石流が発生した。甚大な被害を出した「都市型土砂災害」である。都市計画・地域計画・防災計画のさまざまな問題点が浮かび上がった。

この災害死の数は、土砂災害による人的被害としては過去30年間の日本で最多であり、大きな人的被害となった。近年まれに見る死者数の多さから、社会問題として大きく扱われた。住宅被害、電気・水道・ガスなどに加えて、交通網が集散する場所であったことからライフライン・インフラすべてにおいて大きな被害を受けた。避難勧告の対象範囲は大きく、安全が確認されるまで長期にわたり避難所での生活を余儀なくされた。

行政対応の不手際から、1999年災害の教訓が生かせなかったと指摘された。特に、広島市からの避難勧告発令の遅さが批難された。土砂災害防止法の問題点が浮き彫りとなり、改正が行われた。東日本大震災(2011年)を機に作られた災害派遣精神医療チーム(DPAT)の初出動事例となった。



# 熊本豪雨災害

2020年(令和2年)7月3日から7月31日にかけて、熊本県を中心に九州や中部地方など日本各地で発生した集中豪雨である。熊本県を流れる球磨川水系は、八代市、芦北町、球磨村、人吉市、相良村の計13か所で氾濫・決壊し、約1,060ヘクタールが浸水した。球磨村にある特別養護老人ホーム「千寿園」では、水没した施設で入所者14人が死亡。千寿園のある球磨村渡地区で浸水の深さが最大9mに達したとみられる。

また八代市坂本町中心部では住宅に流木や土砂が流れ込むなどの甚大な被害が出た[。また、芦北町(田川地区で土砂崩れによる死者あり、佐敷駅冠水)や津奈木町(福浜地区で土砂崩れによる死者あり)でも被害が出ている。

熊本県警が発表した県内の死者64人の死因と発見場所によると、溺死(疑い含む)が52人で、うち33人が屋内で発見された。

## 東京、神奈川、千葉、茨城、埼玉に広がる首都圏建設産業ユニオン

### 城北支部

TEL 03 (3888) 2595  
FAX 03 (3881) 3496  
〒120-0042  
足立区千住竜田町12-11

### 城南支部

TEL 03 (5759) 5571  
FAX 03 (5759) 5576  
〒141-0031  
品川区西五反田2-31-6  
セブンスターマンション2F

### 世田谷支部

TEL 03 (3425) 0881  
FAX 03 (3425) 1809  
〒154-0017  
世田谷区世田谷3-6-10

### 杉並支部

TEL 03 (3396) 7333  
FAX 03 (3397) 1848  
〒167-0041  
杉並区善福寺1-15-24

### 練馬支部

TEL 03 (3925) 0009  
FAX 03 (3925) 0635  
〒178-0063  
練馬区東大泉5-38-20

### 東多摩支部

TEL 042 (354) 8055  
FAX 042 (354) 8056  
〒183-0005  
府中市若松町2-3-28

### 多摩北支部

TEL 042 (479) 2260  
FAX 042 (479) 2267  
〒203-0033  
東久留米市滝山7-23-17

### 多摩中央支部

TEL 042 (563) 2666  
FAX 042 (563) 0140  
〒207-0021  
東大和市立野1-26-13

### 多摩支部

TEL 042 (625) 2351  
FAX 042 (626) 4055  
〒192-0066  
八王子市本町2-10

### 本部

TEL 03 (3462) 5331  
FAX 03 (3462) 5334  
〒150-0041  
渋谷区神南1-3-10

### 神奈川支部

TEL 045 (943) 8941  
FAX 045 (943) 8961  
〒224-0041  
横浜市区都筑区仲町台1-34-3-203

### 千葉支部

TEL 047 (311) 2527  
FAX 047 (311) 2528  
〒270-2251  
松戸市金ヶ作396-12

### 茨城支部

TEL 029 (871) 0219  
FAX 029 (871) 0821  
〒300-1252  
つくば市高見原1-1-29

### 埼玉支部

TEL 048 (465) 5933  
FAX 048 (466) 8647  
〒351-0115  
和光市新倉2-21-51



ホームページ  
はこちら→

## 災害から学ぶCCUSの活用について(11/29)講習会 参加申込書

(どちらかに○印をつけて下さい)

所属支部

組合加入

している ・ していない

事業所名

役職等

参加者氏名

メールアドレス(組合未加入の方のみ記入)

申込 FAX 03-3462-5334 (E-mail seminar@kensetu-union.com)